

ネイチャーガイド

リーダー 谷口 青空 会計 辻 佑介 会計補助 迫田 友太 書記 中村 法政 森リーダー 佐々木 善英

目的

幅広い方々に先端理工学部環境生態工学課程では、どのような事をしているかを知ってもらおう事を目的とする。また自然の美しさ、命の尊さを肌で感じてもらう。
今後の研究室選び、進路選択の一つのツールにして頂けると幸いです。

主な活動内容

- ・環境生態工学課程所属の大学教授 (宮浦先生・岸本先生・丸山先生・山中先生) それぞれにインタビュー ※主に生態系を研究されている先生方。
- ・土壌生物、ポイント別 (計3カ所) ・餌別 (計9つ) で違いを観察。昆虫の標本づくり。
- ・龍谷の森内の植生調査・標本づくり。
※キノコ含む
- ・その他 (大戸川下流) 投網・龍谷の森「探索」

インタビュー

宮浦先生 岸本先生 丸山先生 山中先生



土壌生物の観察

ポイント1



図1 日当たりが良く開けた場所にある。近くにはスギやヒノキなどの木が多く存在する。土壌は、固く根っこが張り巡らされている。

ポイント2



図2 日当たりが悪い場所にある。近くには倒れた巨木が多くあり、タヌキやシカなどの動物も多く観測できた。

ポイント3



図3 最も動物 (タヌキ) の被害が多かった場所。(図2) に比べると日当たりが良いが明るいと、言えない。近くには巨木アラカシのみがある。ハチやクワガタなどの昆虫も存在する。

場所別一覧

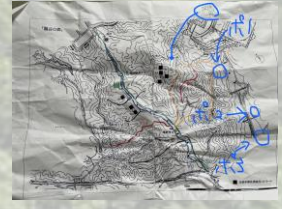


図4 マップから見たポイントごとの位置

唐辛子



野菜



ラム



ビーフ



マグロ



マグロ (総)



マグロ (毛玉)



ササミ



ササミ (総)



結果



図5実験結果...説明書き詳細なグラフ・結果から考察までまとめてあります。
※詳しくは下の標本をご覧ください。

※動物の被害により全てのサンプル回収不可

タヌキによる被害



シカによる被害



植生調査・標本「キノコ含む」

植物の観察

- ・龍谷大学の植物を調査（全35種）
- ・標本作成（採取から2週間、乾燥させたモノ）
- ・それぞれの植物の特徴・特性をアルバムにまとめた。



キノコの観察

- ・龍谷大学のキノコを調査（全8種）
- ・それぞれ写真に収め、特徴・特性を調べた。
- ・写真をそれぞれプリントアウトし、冊子にしてみました。



その他・活動

投網

場所・・・大戸川下流（図6）参照
日時・・・10月中旬 午後14時頃
気温・・・20度前後
捕獲した魚・・・モロコ（図7）参照
捕獲した虫・・・ヤゴ（図8）参照
※捕獲方法を下記の動画に示す



図6 大戸川下流



投網場所



図7 モロコ



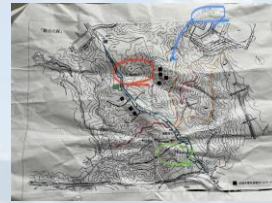
図8 ヤゴ



捕獲方法（動画）



龍谷の森「探索」



クスノキの巨木・・・道沿いになく、森の奥まで入る必要あり。
他のクスノキに比べ横幅が1.2倍ほどある。



森林観測タワー・・・気温や湿度・降水量の測定ができる。
観測タワーは、3つあり、田上山まで一望出来る。無断立ち入り禁止



バイオトイレ・・・糞尿を細菌によって分解するトイレ。
最近養分がなくて困っています、

まとめ

生態系分野に焦点を当てて今回は、主に活動を行いました。
先端理工学部環境生態工学課程には、工学分野の教授を多く在籍されてます。
環境問題は、これからも続く社会問題であり、私たちが向き合うべき大きな課題です。
一緒に環境について考えて見ませんか？

最後に一言

私たちの研究結果は、主に標本にあります。是非手に取ってご覧下さい。少しでも興味があればお気軽にお声かけ下さい。